



【は】っけん・気付く 【ル】ートを考えつながる 【え】がおを創り出す

久遠



春江中学校教育目標

- 自ら進んでよく学び、協力して働く生徒
- 規律を守り、責任を重んずる生徒
- 心身ともに健康で、思いやりのある生徒

つなげ、つながり、つなぐ

校長 横枕 耕史

拉致問題を風化させない

10月15日の道徳授業地区公開講座では、北朝鮮による拉致被害者家族連絡会代表の横田拓也氏をお迎えし、「北朝鮮よ 姉 横田めぐみを帰せ!」と題してお話を伺いました。

この拉致問題は被害者家族だけの問題ではありません。時間的制約があり一刻も早い解決を願うため、私たち一人ひとりが関心を持ち続け、風化させず、人権と平和を守るために世論や国を動かし、解決へとつなげなければならない人権問題なのです。

拉致被害者全員を返せ！
—あなたも意思表示を—



代だからこそ、**利他的に行動することの価値**は大きいのです。子どもたちが希望に満ちた未来を生きるためにも、身近なところから **SDGs に向けた小さなアクション**を積み重ねていきましょう。

教育の役割と新しい学習指導要領

現在、文部科学省では次期学習指導要領の検討が進められています。その論点整理（素案）では、

生涯にわたって主体的に学び続け、

多様な他者と協働しながら、

自らの人生を舵取りすることができる

民主的で持続可能な社会の創り手をみんなで育むことを基盤として検討が進められています。

「好き」（興味・関心）を育み、「得意」を伸ばす。当事者意識を持って、自分の意見を形成し、対話と合意ができることが求められています。

教育の役割は、まさに持続可能な社会を担い、未来へとつながる人材を育てることにあります。

世界の課題と SDGs：私たちとのつながり

拉致問題の他に、現代社会には、貧困、格差、環境問題など、解決すべき課題が山積しています。

国際連合は 2030 年までの **SDGs（持続可能な開発目標）**として 17 の目標を掲げています。その中で教育に関わる重要な目標として、「**質の高い教育をみんなに**」「**ジェンダー平等を実現しよう**」「**平和と公正をすべての人に**」などがあります。これらの目標は、遠い世界の話ではなく、私たちの生活とつながる課題です。未来をより良くするために、身近な行動から始めることが大切なのです。



私たちに求められる姿勢

今を生きる私たちは、これらの課題を決して他人事にせず、世界がどの方向に進もうとしているのかを自分事として捉える必要があります。**自分と社会がつながっているという自覚を持ち、より良い未来に向けて何ができるのか**を考え、行動に移すことが大切です。個人主義や自国優先の考え方が広がる現

春江中学校の挑戦：「つながる」力の育成

本校では、「**未来を主体的に生き抜く力を育む学校**」を目指し、**はるえアクションスローガン**を掲げ「**ルートを考え、つながる**」行動をしようと生徒に促しています。生徒一人ひとりが自分の未来を見据え、問題意識を持って課題解決のために探究するアクションが大切です。そして、行動することで得る多様な学びや経験をどのように「**つなげ、つながり、つなぐ**」かが重要です。つながることで実現できる未来を信じ、自らの人生を舵取りできるように、トライ＆エラーを繰り返しながら、ポジティブに未来志向で自分と向き合い挑戦してほしいと願います。